



羽け!!

新成人



平成25年 12月定例会 12月10日～18日開会

一般会計補正予算5千万円増額

平成25年度一般会計歳入歳出それぞれ47億3440万円へ

今回の定例会は、土地の取得、衣奈漁港海岸整備その3工事請負変更契約の締結、由良町給与に関する条例の一部を改正する条例1件、由良町職員再任用に関する条例1件、一般会計補正予算、公共下水道事業特別会計補正予算、漁業集落環境整備事業特別会計補正予算など条例2件、議案5件すべて可決しました。また、一般質問は4名の議員が登壇しました。

衣奈漁港整備請負変更 (1204万円増額補正)

問 金額変更の具体的な中身は？

答 (参考) ボーリング調査のしていなかった場所であり、地盤も礫まじり土砂から、一部、岩盤に変更及び航路浚渫工の増施工が増額の要因です。

由良町職員の再任用に 関する条例可決

平成26年度から、公務員の年金支給開始年齢が段階的に65歳まで引き上げられることに伴い、定年退職した職員について無収入期間が発生しないように雇用と年金の接続を図るための条例制定です。

問 民間の方には、失業保険があります。公務員は定年退職されたあとは、失業保険はあるのか？

答 (総務政策課長) 失業保険は、公務員の場合ありません。退職した職員を再任用する場合、行政に精通した職員を残すということはないのではないかと？

問 は、良い面もあるが、反面、若い職員が育たないのではないかと？

答 (町長) 行政に精通した者を残すことは、良い面もありますが、若い職員が頼りすぎて成長しない面もあります。また、現行68名の本庁職員数にこだわらず、職員の増員も検討したいと思っています。

由良町職員の給与に 関する条例

問 55歳からの職員の昇給停止は、勤勞意欲を低下させるのでは？

答 (町長) 国の人事院勧告に基づいて給与昇給の抑制を実施しているところです。今まで同様、職員の勤務意欲は低下する事がないと思います。

土地の取得 (衣奈)三尾川間の町道 契約の相手方47名)

問 道路の具体的な構想は？

答 (参考) 延長2km、幅員7mの2車線道路で、橋梁は2カ所です。全体事業費は約20億円と予定しています。

問 用地交渉は？

答 (参考) 地権者の方々には、ご協力を頂いて早期完成を目指します。



ここでは対向できません。

総務文教常任委員会

学びの21世紀塾とおもてなしの心

去る11月25・26日の両日、大分県豊後高田市と広島県呉市に視察研修を行いました。

豊後高田の「昭和の町」は、昭和30年代の賑わいをもう一度蘇らせようという願いをこめて、平成13年から着手した町づくりが、平成の今では懐かしくなってしまったものや、人情も大切に守り伝えていく思いの町を再現し、おもてなしの心を大切に、活性化に大成功し年間40万人近くの方が訪れるようになっています。

また、「学びの21世紀塾」は、大分県でもほぼ最下位の学力になっていた中で、永松博文市長が塾長となり、教育長も先頭に立ち、子ども達に確かな学力の定着や、体力づくりの機会を提供。ケーブルテレビでのテレビ寺子屋や、そろばん、英会話、国語、数学など、行政、教育委員会が本気になって取り組んで来た結果、学力では、県内トップの成績を上げ、スポーツ面でも、全国大会出場や素晴らしい成果を上げています。

「学力向上の理由は、本気の連鎖によるもので、子ども達には、自ら学び、自ら考える力や正義感、倫理観などを身につけ豊かな人間になり、自分の夢の実現に



向かってもらいたい」と、12年間の活動を振り返り、教育長は語ってくれました。今回の視察は、学力向上やおもてなしの心を知る上で大変参考になりました。また、呉市の海上自衛隊呉地方総監部へ表敬訪問しました。



視察報告

遊休農地に薬草栽培を

去る11月19日・20日両日において、茨城県土浦市の独立行政法人医薬基盤研究所薬用植物資源研究センター、筑波研究部へ行政視察をしました。

同所は、医薬品・医療機器の開発に向けた基盤技術の研究し、革新的な医薬品などの創出に貢献、国民保健の向上を目指して、平成17年4月、大阪府茨木市彩都に設立しました。

大学などで行っている基礎研究を製薬企業などに「橋渡し」するための産学官共同研究等を推進するとともに、研究開発の成果を広く社会に還元するため、医薬品などの基盤技術開発を目指した「研究遂行」「資源分譲」「資金提供」を統合して、ワンストップで推進・支援できる国内で唯一の機関であるという特色を活かし、産学官一体となった取り組みを積極的に進めています。

また、最近NPOに化粧品原料としてメキシコ産のアロエベラの栽培依頼の話も持ち掛けられています。種苗や種子の保存等、由良町でもこの薬草の栽培を成功させ、獣害対策はもとより地域の活性化として雇用の創出にもつながると期待を寄せています。

産建厚生常任委員会

由良町の基幹産業である農業、特に農産物はイノシシやサル被害により、生産意欲まで削がれる状態です。それらを何とか解消すべく、遊休農地や里山を活用し、緩衝地を設け被害をくい止め、特に不耕作地がある遊休農地に薬草を栽培



問 新しい選果場は、どのような効果があるのか？

答 (参考) 最新機能により、中晩柑類にも拡大され、ゆらっ子ブランドを強化し、市場評価の向上と産地間競争に打ち勝つていきたいと思っています。

JAGグリーン日高ゆら柑橘 選果場へ「選果施設事業補助金」として2400万円を計上。

由良選果場選果施設は、約14年が経過し、老朽化等により、品質センサーの性能や計測などの不備が発生。高度化改修が必要な状況でした。

今回、「強い農業づくり交付金事業」(国庫事業)を活用し、最新機能を充実させ、市場評価の向上、産地間競争の強化を図るため事業実施するものです。

工事内容は、果実搬送ライン6条、外観化計測カメラ、内部品質センサー、制御附帯設備等です。(高性能の糖酸度センサーなどを導入)

事業費負担は、国、グリーン日高農業協同組合、町、生産者です。



一般質問

議員が町行政の問題などを問いたす「一般質問」は4名の議員が質問に立ち、町当局の考えを質しました。以下その内容を要約してお知らせします。(文面はすべて質問者本人の原稿によるものです。)

「人口流出に歯止めを」と「若者の定住対策等」について具現化を

主旨等に答えられるように努力をします



山名 実 議員

問 人口減少に歯止めとか若者の定住対策というのには一朝一夕にいかないのは承知していますが、ある意味、喫緊の課題だと思っております。

答 私がこれまで質問を重ねてきた中で定住問題に対して町長並びに執行部も十分に検討していると思うが、一日でも早く対策等を講じて具現化して頂きたい。



問 人口減少に歯止めをというところでありますが、由良町の人口は、11月末で6,445人で4月から81人減少しているのが実情です。人口減少に関して、由良町としても少子化対策等様々な施策を講じてきましたが中々歯止めがかからないのが実情です。町としても、市内に町活性化並びに町有地活用検討プロジェクトチーム等を作り調査検討しています。

答 また、定住促進していくなかで、町営住宅の建て替えなど財政的な面も考慮しながら将来的に考えていかなければならない。そして、雇用についてもアベノミクス効果によって企業活動が活発になって雇用が拡大すれば、地域へ残る若者も増えてくると考えております。

また、町民が安全安心して住んでもらえるような環境作りやインターン、Uターンなどで町内へ来てもらえるような環境作りや空家対策を行い町外からの移住などを考えているが難しい状況です。人口減少に歯止めをかけるのが町行政を進めていく目標であり責任です。全力で取り組んでいきたいと考えておりますが、色々な考え方を駆使して、できるだけの土壌等に答えられるような努力を職員一同頑張っていきたいと考えております。

「男の料理教室」のすすめ

機会があることにPRしていきたい



川出 純 議員

問 戦後の食生活の欧米化と高度経済成長に伴う飽食化が、大きく関係している事は間違いありません。

答 「健全な肉体に健全な精神が宿る」ことわざがあるが、健康、つまり体力と気力に充実の源は、食生活にあると考える。南区南風会老人クラブでは、平成23年から「男の料理教室」を実施。60〜70歳代を対象に10名程度の小さなグループで、2カ月に1回の学習に取り組んでいます。

講師に住民福祉課の保健師や調理実習には、食生活改善推進員の指導を受け、今日まで高血圧、高脂血症・高尿酸血症・糖尿病・肥満症・認知症・がん予防などをテーマに、毎年12月に「成果発表会」を開催しています。今年も12月4日に児童館で講師と区内関係団体役員・ボランティアを招き「栄養バランスを第1に作り育てる新鮮な旬の食材を、質素節約を楽しみながら、そんな賢い熟年の知恵料理」をテーマに調理実習の成果を披露する場を設けております。

南風会老人クラブの「会員相互の親睦と心身の健康保持に努めるとともに、高齢者の持つ経験と能力を発揮し、地域発展に寄与する」という活動目標に沿って1年でも2年でも長く健康を保ち、いよいよ介護保険の世話になる事を遅らせるための実生活に役立つ「健康教室・料理教室」を目指しています。

私は、この実践を全町的に広めるべき活動だと考えています。是非普及して頂きたいので、答弁をお願いします。

答 (町長) 南区の「男の料理教室」は、健康のたのめな食生活をテーマに、自発的に講演や調理実習に取り組んでいただいていることは、本当に素晴らしい活動だと思っております。

まず、健康について興味を持っていただく、そして、そのために何をすればいいのかわかる。次に、周りを巻き込んで地域全体の活動としていく。このことにより、体の健康とともに指先を使ったり、他の人との会話などにより認知症を少しでも遅らせたり、引きこもり防止にもなり、心の健康につながっています。

こういう実践活動を老人クラブや男性だけにこだわらず、他の個人や団体に広げるために、機会があることにPRをしていきたいと思っております。

風力発電の低周波音被害について

御坊保健所と連携しながら対応



由良 守生 議員

問 風力発電は24時間、絶え間なく低周波音を発しています。由良町を取り巻く風力発電は21基あります。風車間の距離は狭く、互いに影響しあい、相互作用があるでしょう。

答 日本気象協会が低周波音を測定し報告しました。畑地区、里地区でも、非難、轟々とした日弁連の公害環境委員会の幸田雅弘弁護士は、「環境省の実態調査は音圧補正がなされている。音圧減少がなされている」と記しています。

風力発電は高さ100mの巨大な構造物です。風車の直径は80mもあります。一般家庭にあるような小さな電気製品とは、エネルギーが違います。

風力発電の低周波音被害者は、周囲の人の目を気にしながら、苦しいことを隠しながら、生活を続けています。九州の水俣病の被害者と同じように、差別と偏見を受けています。

風力発電ができて、低周波音で耳が痛い、頭が痛い、首が痛い、目まいがする、だるくてたまらない、という被害者がたくさんいます。由良町の被害者は、どうして苦しいことを隠して、我慢して、苦しい生活を続けなければならないのでしょうか。被害者にも健康に生きていく権利があります。

私は阿戸地区でも、低周波音測定機を使って測定しました。周波数1〜60Hzまで、音圧20〜30dB程度で、ほとんど一定しています。風力発電の周辺地域とは、まるで違います。

町全体で、この特異な被害について考え、何とかしようではないですか。町当局には責任ある対応を求めます。

風力発電を止めて、健康調査をしてもらいたい。

答 (総務政策課長) 町としては、何度も申し上げておりますが、体調不良を訴える住民がいるのであれば、今まで同様、当町の保健師はもとより、御坊保健所と連携しながら対応してまいりたいと考えております。

全国学力テスト結果と課題は?

県平均正答率より低位にあるのが現状



玉置 一郎 議員

問 平成19年度から始まった全国学力・学習状況調査の結果、由良町の学力状況は和歌山県内で、どの位置にいたのかをお聞きします。

答 (教育長) 今年度の結果において、県の平均正答率と比較すると小学校の算数A問題では、県平均より高くなっていますが、国語A問題・算数B問題では県平均より低くなっています。中学校の国語・算数のAB問題は、県平均正答率より低位にあるのが現状です。

この調査結果を分析すると、小・中学校とも国語・算数・数学の全国正答率よりは低い状況です。国語では、小・中学校とも「話すこと・聞くこと」の領域の正答率が低く、記述式の無解答率が高いのが特徴です。算数・数学では、数学的な考え方の正答率が低く、無解答率も高くなっています。

児童・生徒に対して行った質問紙からは、次のような特徴が見られます。「家で予習・復習をしている割合が少ないう」「起床・就寝時間も遅く、睡眠時間は少ないう」「達成感や自己肯定感を持って挑戦する児童・生徒が少ない」「学習面・生活面での課題が見えてきています。

この現状を厳しく受け止め、各学校に学習支援員を配置し、つまづきのある児童・生徒への学習支援、少人数指導・TT指導・個別指導などの指導方法の工夫改善、積極的な研修や研究事業による教員一人一人の指導力の向上、町独自の全国標準テストを実施し、その分析をいかに活用していくかを考えています。

小・中学校連携部会を定期的に開催し、「ノート指導」四則計算の徹底、家庭・補習学習など何項目に渡って全学校で取り組む、共通の課題に向けた統一をしています。

現在、校長会でも「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣、生活規律、家庭学習の徹底など家庭との連携を更に徹底し、学校・家庭・地域の方々の力も借りながら取り組む根拠強く継続していきたくと考えております。

学校教育と社会教育の充実について町長の所見を

答 (町長) 第4次総合計画の第3章のなかにも盛り込んでいます施設整備(学校の耐震化と冷暖房設備、公民館の耐震補強)については、概ね整備ができたものと思っています。

社会教育については、26年度から指定管理も解約した中で新たに町直営で公民館の運営をします。町民のニーズにあった講座、講演などを提供し教育委員会と一体となって生涯学習の充実に取り組んでいきたいと考えています。

(他の質問) ●適正な職員定数と課設置の見直しについて

謹賀新年



上野 諭 議長

明けましておめでとうございます。皆様には新しい年を迎えられ心からお慶び申し上げます。平素は議会に對しまして、ご支援とご協力を賜り感謝申し上げます。

日本経済は上向き傾向にありますが、我々地方においては依然厳しいものがあります。今年こそ「地方が変わるか」「地方が変わらなければならぬ」「地方の回復」が重要な年であると思っております。

このような状況にあって、よりよい町づくりのため、地域産業の育成、教育・福祉の充実、防災対策、道路整備、若者定住と居住環境、少子化・高齢者対策など、これからも全力で取り組んで参ります。

今後とも一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。ともに、益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。このあいさついたします。



玉置 一郎 副議長

明けましておめでとうございます。昨年は、伊勢神宮と出雲大社の遷宮の年でした。今年も「甲午（きのえうま）」干支という60年周期で巡るサイクルの中で31番目にあたり「30年間成長してきたエネルギーが今後30年間で取戻し、形作っていくキッカケの年」で、否が応でも世の中は激しく動く意味があるように思います。皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。



由良 守生 議員

明けましておめでとうございます。初当選から早や3年、残りの任期も1年となりました。私なりに懸命に考え、行動したつもりです。「任重くして道遠し」さらに努力の必要を感じています。今年も健康第一、ご期待に応えるためにがんばります。ご指導、よろしくお祈りいたします。



山名 実 議員

明けましておめでとうございます。皆様方には輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。本年も住み良い由良町をめざして、全力で取り組んでまいりたいと思います。皆様方のご指導のほどよろしくお祈り致します。ご多幸を心よりお祈りいたします。



吉田ひとみ 議員

明けましておめでとうございます。今年も、安心、安全の住み良い町づくりを継続し、皆様のご意見を重視し、精一杯頑張つて少しでも多くの方に、沢山の笑顔をお届けされる様、努力致します。これからも、ご指導の程、お願い申し上げます。



中村 森 議員

輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は「富士山」や「和食」が世界文化遺産に登録、2020年にはオリンピック・パラリンピックが東京で開催されることと決定、日本中が喜びと感動に溢れました。今年も、由良町議会議員としての自覚を持ち由良町のためにウマク活動が出来るよう、皆様方のご理解とご協力をお願い致します。



馬場 博文 議員

明けましておめでとうございます。皆様方には健康やかに佳き新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は種々ご指導ご鞭撻を賜り、誠にありがとうございました。本年も変わらぬご支援のほどよろしくお祈り申し上げます。



藤田 富三 議員

明けましておめでとうございます。旧年中は公私共大変お世話になりました。心より厚く御礼申し上げます。さて、畑中町長の構想は着実に実現に向かっており、今年は何点かの事業が形となって現れて来るように思います。そういった中で私もお一層精進を重ねて参る所存でございます。今後とも御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



川出 純 議員

新年おめでとうございます。由良町の発展で一番望まれるのは自立の町づくりだと考えています。由良町には、各地域に各種の団体があります。それぞれの力を交流すれば、かなりの力になります。輝く地域が増えれば、由良町は、今より、より輝くと思えます。協力しながら、由良町を輝かせましょう。



神田 勉 議員

明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。すべての方が支え合い、温かいおもてなしの心で「インターンUターン」していただき、こよなく愛される心豊かなふる里づくりのために全力で取り組みます。今後ともご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

2013年(平成25年)主な議会年表

1月	2月	3月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
20日	28日	19日	8日	15日	11日	11日	20日	8日	9日	25日
22日	27日	7日	9日	14日	12日	29日	26日	22日	20日	18日
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

- 1月20日 総務文教常任委員会・地域活性化調査特別委員会合同行政視察研修(愛媛県西条市・八幡浜市・双海町)
- 2月28日 「議会運営委員会」開催
- 3月19日 「第1回臨時会」開催
- 3月7日 「議会運営委員会」開催
- 3月19日 「第1回定例会」開催
- 5月8日 「議会運営委員会」開催
- 5月9日 「地域活性化調査特別委員会」開催
- 5月9日 「第2回臨時会」開催
- 5月9日 「第2回定例会」開催
- 6月15日 「平成25年度一般会計補正予算、条例改正、副市長の選任、固定資産評価審査委員の選任、人権擁護委員候補者の推薦、繰越明許費繰越計算書の承認など」
- 6月15日 全員協議会(白崎海洋公園、水道関係、地方自治法改正について)
- 6月15日 総務文教常任委員会(町内小・中学校視察)
- 6月15日 産建厚生常任委員会(町内企業視察)
- 6月15日 産建厚生常任委員会(町単独工事視察)
- 6月15日 全国町村議会議長会広報研修会(東京都永田町)
- 6月15日 県町村議会議長会全議員研修会(吉備D-1)
- 6月15日 「議会運営委員会」開催
- 7月11日 「第3回定例会」開催
- 7月11日 「平成25年度一般会計・特別会計補正予算、衣奈漁港海岸整備その1・その4工事請負契約の締結・条例の一部改正6件・由良町認定こども園条例・健全化比率及び資金不足比率報告書、平成24年度一般会計・特別会計歳入歳出決算認定など」
- 7月11日 「全員協議会」「総務文教常任委員会」開催
- 7月11日 「日高郡議会議長会トポール大会(日高川町美山D-1)」
- 7月11日 「中学生との座談会」開催
- 7月11日 由良町文化・スポーツ賞表彰授与式
- 7月11日 第11回ゆらふれあい祭
- 7月11日 産建厚生常任委員会行政視察研修(茨城県つくば市・東京都)
- 7月11日 歌山村議会議長会「正副委員長研修会」(和歌山市)
- 7月11日 議長杯ゲートボール大会(由良小学校)
- 7月11日 総務文教常任委員会行政視察研修(大分県豊後高田市・広島県呉市)
- 7月11日 「議会運営委員会」開催
- 7月11日 「第4回定例会」開催
- 7月11日 「平成25年度一般会計・特別会計補正予算、土地の取得、衣奈漁港海岸整備その3工事請負変更契約の締結、由良町職員の給与に関する条例の一部改正、由良町の職員再任用に関する条例など」
- 7月11日 「全員協議会」開催

防災メモ

枕元には、必ず、防災袋と靴を置いて下さい。

靴は、自宅内の割れたガラスなどで足を切るのを防ぎます。

防災袋の中には、笛も入れて下さい。助けを求めるとき、笛の方が良く聞えます。

そして、懐中電灯やライター、ティッシュペーパーを必ずナイロン袋に入れ、防水対策する事を忘れずに。

毎日飲んでいる常備薬を袋に入れる事も忘れがちです。

飲料水を沢山入れると、防災袋が重すぎて避難するのが困難に。

「天災は、忘れた頃にやってくる!!」 どうぞ、早めの対策を。



※2月3日から14日まで、役場1階ロビーで「成人式」の写真を展示します。

編集後記

月梅は咲いたか♪ 桜はまだかいな♪ 月と口ずさみながら、一月行つて、二月逃げて、三月去つて「あつ」という間に暖かい春がすぐそこに、と思つている人が大半だと思つています。

厳しい寒さは、これからは、風邪をひかないよう、体調管理をウマク

議会広報編集委員会
委員長 吉田ひとみ
副委員長 山名 実
委員 由良 守生
中村 森
玉置 一郎
川出 純

乗り切つて下さい。今年も皆様方にこの紙面を通じて喜ばしいニュースをお届けできるよう委員一同頑張ります。(森)